

犬島に新たなパビリオン「HANA」誕生

PRADA から寄贈、犬島「家プロジェクト」の妹島和世が設計



撮影：川越 健太

公益財団法人 福武財団（理事長：福武英明 香川県、直島）は、「犬島 ぐらしの植物園」（岡山県、岡山市 犬島）に建築家の妹島和世氏が設計を手がけた新たなパビリオン「HANA（ハナ）」を 2025 年 6 月 5 日から公開しました。本パビリオンは、イタリアのファッションブランド PRADA からの寄贈により実現したものです。

福武財団は、2008 年より妹島氏、そしてアーティスティックディレクターの長谷川祐子氏とともに、犬島の集落を中心としたアートや建築による地域づくりに取り組んできました。2010 年に公開した犬島「家プロジェクト」をはじめ、地域と対話しながら継続的な活動を行っています。妹島氏と明るい部屋による「犬島 ぐらしの植物園」（2016～）では、地域との交流を基盤とした場づくりを行い、島の方々や来訪者が日常的な手入れやワークショップに参加することで、多様な人たちが憩い、学び合う場となっています。

一方、PRADA は長年にわたり現代文化を支援してこれ、文化的に意義のあるプロジェクトへの貢献というブランドの姿勢をあらためて明確にするものとして、この「HANA」の寄贈に至りました。

ここに、当財団による犬島のプロジェクトへの深い理解と支援に対し、心より感謝を申し上げます。

「HANA」は、自然と調和する軽やかな構造をもち、植物園を訪れる人々に新たな体験をもたらす象徴となります。6 月 5 日には、PRADA によるクローズドイベント「犬島プロジェクト」にてお披露目され、関係者および報道関係者に向けて初めて公開、トークイベントやワークショップの舞台となりました。瀬戸内国際芸術祭 2025 夏会期（2025 年 8 月 1 日～8 月 31 日）の開催に際し、この「HANA」の公開をきっかけに、これまで以上に犬島島民ならびに国内外からの来訪者が訪れ、集う場になることを願います。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】 取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45～17:30）

新パビリオン「HANA」



撮影：川越 健太

「犬島 暮らしの植物園」にできた常設のパビリオン。植物園のランドスケープと呼応する、花のような形をしたパビリオンが2つ咲くことで、「みんなで集まれる」場所をつくり出します。厚さ 3mm のステンレスの板材を曲げ加工し、船で犬島に運び込んだ後、現場で溶接、研磨を施しました。少し鈍い鏡面仕上げが、周りに広がっている木々や花、夕日の光など、日々変化する植物園の風景を映し出します。

名称：HANA

設計：妹島和世建築設計事務所

構造：Arup

施工：ARTISAN

寸法：高さ 2965.37mm

規模：投影面積 20.36 m²

管理：公益財団法人 福武財団（理事長：福武英明）

設置場所：犬島 暮らしの植物園内 岡山県岡山市東区犬島 50

妹島和世氏 コメント



©SANAA

「犬島 暮らしの植物園」プロジェクトは、島の方々と来訪者の方々と共に土地を開墾しながら、この場所が自然と共にくらす遊びを体験できる場となることを目指して2016年から始まりました。はじめてから9年の間に、ワークショップやイベント、庭の手入れなどを通じ、いろいろな人々がこのプロジェクトに関わってくださるようになり、みんなでこの場所をつくりあげてきました。

このたび、そんな場所に、みんなが集まる場所の象徴として、パビリオン「HANA」が完成したことを、大変嬉しく思います

本活動に共感しご支援くださった PRADA の皆様、これまでともに犬島で多様な取り組みを進めてきて下さった福武財団の皆様、私たちの活動を温かく受け入れ、支えてくださっている犬島の島民の皆様、そして犬島のプロジェクトに関わってくださっているすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45~17:30）

■妹島和世プロフィール

1956年茨城県生まれ。1987年妹島和世建築設計事務所設立、1995年西沢立衛と共にSANAA設立。2010年プリツカー賞受賞*。代表作に、「金沢21世紀美術館」*（2004年、石川）、「ROLEX ラーニングセンター」*（2009年、スイス）、「犬島『家プロジェクト』」（2010年、岡山）、「ルーヴル・ランス」*（2012年、フランス）、「Junko Fukutake Hall」*（2013年、岡山）、「グレイス・ファームズ」*（2015年、アメリカ）など。（*はSANAA）2019年春夏コレクションの「Prada Invites」プロジェクトではPRADAのバッグデザイナーを務め、2023年にPRADA財団で開催された展示会「Paraventi：17世紀から21世紀の屏風」のデザイナー、そして2023年の「PRADA MODE」東京を監修しました。

PRADA「犬島プロジェクト」について



イベントの様子 写真©Prada

2025年6月、PRADAと妹島和世氏のコラボレーションによる「犬島プロジェクト」が開催されました。本プロジェクトは、妹島氏が長年にわたり福武財団と取り組んできた犬島での活動に対する、PRADAの賛同により実現しました。同時期に大阪では妹島氏との2回目のコラボレーションとなった第12回目の「PRADA MODE OSAKA」も開催され、「HANA」はこの一連のプロジェクトのなかで、「犬島 ぐらしの植物園」（福武財団）に寄贈されました。「犬島プロジェクト」では、建築家らのトークイベントやミュージックパフォーマンス、妹島氏設計によるピザ窯でのピザ作りのワークショップなど、さまざまなプログラムが開催されました。敷地内には、パビリオンの建設過程で掘り出された土を用いて制作された「仮に浮かべる風景」と題された2つのカウンターも設置されています。これらは「循環と再統合」を象徴する存在として、静かに風景に溶け込み、やがて自然へと還ることを意図しています。また、犬島の風景から着想を得た、彩豊かなSANAA設計による「Rabbit Chair / FRP」も寄贈されました。

イベントの詳細についてはこちら [Prada Mode Osaka | PRADA](#)



寄贈された「HANA」と「Rabbit Chair / FRP」写真©Prada



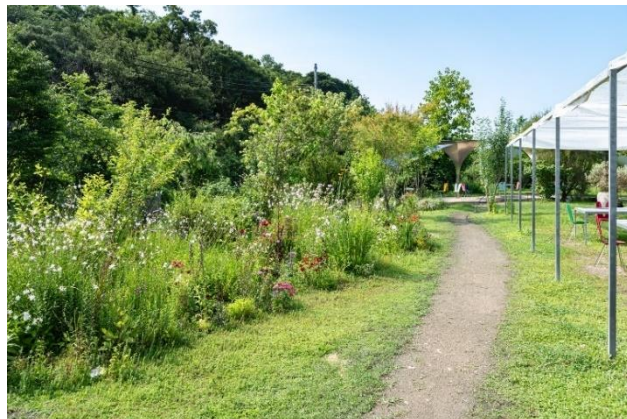
「仮に浮かべる風景」写真：川越健太

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45~17:30）

犬島 ぐらしの植物園



撮影：川越 健太

妹島氏と、2016年に犬島に移住したガーデンデザインユニット「明るい部屋」による「犬島 ぐらしの植物園」は、長く使われていなかったガラスハウスを中心とした約4,500㎡の土地を再生し、犬島の風土や文化に根ざした植物園として展開。完成された場としての見学型の植物園ではなく、島の方々と来訪者とともに土地を開墾していきながら、自然のサイクルに身を置き、食べ物からエネルギーに至るまで、自給自足しながら自然とともにぐらしの楽しみを体験できる場づくりをしています。

自然の巡りや植物の力をぐらしに活かす術を島の方々に教えていただきながら、ワークショップ等を通じて「食」や「香り」「学び」「遊び」など、「植物にできることのすべて」が体感できるような機会と空間を提供しています。島の方々と来訪者が憩い、学び合う場でもある「犬島 ぐらしの植物園」において、訪れる方とともに「これからのぐらし方」を考えていきます。

主催人・運営：公益財団法人 福武財団

企画：妹島和世＋明るい部屋

建築：妹島和世建築設計事務所

植栽：明るい部屋

敷地面積：約4,500㎡

■明るい部屋 プロフィール

2005年 フラワーデザイナー・木咲豊とコミュニティガーデンプランナーの橋詰敦夫が設立したガーデンデザインユニット。「植物にできるすべてのこと」をテーマに、単なる鑑賞対象としての庭園ではなく、暮らしを豊かにするためのコミュニケーションメディアとして捉えた庭園づくりを行う。2010年 犬島「家プロジェクト」庭園を担当。島民との交流を基盤とした犬島ならではの庭園のあり方に大きな力を感じ、2016年より犬島に移住。建築家妹島和世と協働で「犬島 ぐらしの植物園」を企画・制作・運営。2017年2月、木咲豊の急逝以後、一人で活動を継続していたが、2024年より新たに植物コーディネーター・松尾卓哉をメンバーに迎え、犬島のコミュニティ再生を目指したランドスケープ計画に取り組む。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45~17:30）

■犬島 暮らしの植物園 施設概要

住所 : 岡山県岡山市東区犬島 50
電話番号 : 086-947-1112 (犬島精錬所美術館)
開館時間 : 10:00 ~ 16:30
休園日 : 火曜日 - 木曜日 (3月1日 ~ 11月30日)
※祝日の場合は開館/全日 (12月1日 ~ 2月末日) ※不定休あり。 [ベネッセアートサイト直島ウェブサイト開館カレンダー](https://benesse-artsite.jp/art/lifegarden.html)で随時更新。
鑑賞料金 : 無料 ※犬島精錬所美術館と犬島「家プロジェクト」は共通チケットオンライン購入 2,100 円/窓口購入 2,300 円
駐車場 : なし
施設 URL : <https://benesse-artsite.jp/art/lifegarden.html>

犬島「家プロジェクト」



写真左上 犬島「家プロジェクト」A邸 ペアトリス・ミラーゼス「イエロー フラワー ドリーム」2018 右上 写真:井上嘉和 写真:井上嘉和
左下:犬島「家プロジェクト」I邸 オラファー・エリアソン「Self-loop」2015 写真:市川靖史 右下 石職人の家跡 浅井裕介「太古の声を聴くように、昨日の声を聴く」
2016 写真:井上嘉和

犬島「家プロジェクト」は、アーティスティックディレクター・長谷川祐子、建築家・妹島和世による犬島の集落で展開するプロジェクトです。2010年、企画展示を目的とした3つのギャラリー「F邸」「S邸」「I邸」と「中の谷東屋」を開設し、2013年、新たに2つのギャラリー「A邸」「C邸」を増設しました。集落に点在するこれらのギャラリーは、鑑賞する人と作品、島の風景が一体となるよう、かつて建っていた民家の瓦屋根や古材、透明アクリル、周囲の風景を映し出すアルミなど多様な素材でつくられ、新たな展示空間を創出しています。現在、ギャラリーと集落内に、6人の作家の作品を展示しています。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール: press@fukutake-artmuseum.jp 電話: 087-892-2550 (平日: 8:45~17:30)

名称：犬島「家プロジェクト」

アーティスティックディレクター：長谷川祐子

建築：妹島和世

ギャラリー：全5軒（2010年「F邸」「S邸」「I邸」、2013年「A邸」「C邸」）石職人の家跡

■ベネッセアートサイト直島とは

「ベネッセアートサイト直島」は、直島・豊島（香川県）、犬島（岡山県）を舞台に株式会社ベネッセホールディングスと公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。

瀬戸内海の風景の中、ひとつの場所に、時間をかけてアートをつくりあげていくこと——各島の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していくことが「ベネッセアートサイト直島」の基本方針です。各島でのアート作品との出会い、日本の原風景ともいえる瀬戸内の風景や地域の人々と触れ合いを通して、訪れてくださる方がベネッセホールディングスの企業理念である「ベネッセーよく生きる」とは何かについて考えてくださることを目指しています。

そして、活動を継続することによって地域の環境・文化・経済すべての面において社会貢献できるよう、現代アートとそれを包括する場である地域がともに成長し続ける関係を築いていきたいと考えています。

■ベネッセアートサイト直島の歴史について

参照 URL：<https://benesse-artsite.jp/about/history.html>

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45~17:30）